

三田市精神障害者支援センターの平成29年度年間行事予定（下記表）です。

沢山の参加お待ちしております。詳しくはあすなろ新聞、チラシ等でお知らせします

日	時	場	所	内	容	講	師
平成29年10月21日(土)		三田市総合保健福祉センター		I P Sモデルの就労支援		畠木奈津恵さん	
平成29年12月	(土)	三田市総合保健福祉センター		居宅支援について		未	定
平成30年2月	(土)	三田市総合保健福祉センター		クラフトプログラムについて		未	定

あすなろ訪問看護ステーション

今年も暑さとの戦い(?)ですが、毎年毎年気温が上がっているような気がします。暑さ対策は皆さん何か工夫されていますか？ あすなろでは毎年の事ですが、玄関と裏にゴーヤを植えて、日よけにしています。ただ一年一年暑くなるのが早いような気がして、ゴーヤが伸びる前に暑さが来ってしまうというのが、ここ最近の悩みです。とにかく涼しく過ごせるよう工夫して、暑さ乗り切りましょう!!

水分補給はしっかりしてくださいね!!

こんなことでお困りではないですか??

- ・精神科の疾患、症状について理解してもらえず困っている。
- ・気分的にしんどくて動けない。逆に元気な時は動きすぎて歯止めがきかない。
- ・誰もいないのに見られているように感じたり、声が聞こえたりする。又、その声の言う通りに動いてしまう。
- ・つじつまのあわない事を言ったり、行動がおかしい。独りで笑ったり、会話したりしているような事がある。又、その時の対応を家族としてどのようにしたらいいのかわからない。
- ・退院してきたが、今後の事が不安。又、今は生活に問題がないがこの先の事が心配。
- ・薬が指示通りに飲めず、調子を崩してしまうことがある。

人それぞれ困っていることは違うと思いますが、

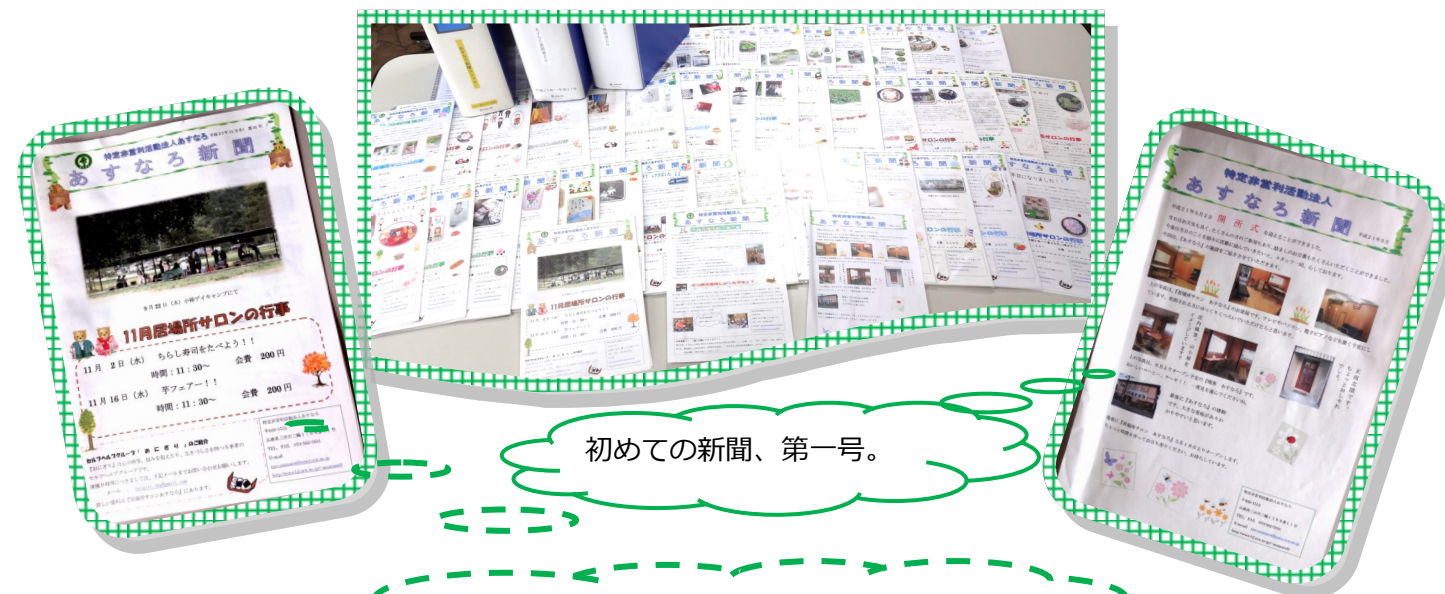
生活しやすく、自分らしくという事を目指して一緒に考えていきませんか。

いつでも『あすなろ訪問看護スタッフ』がお待ちしております。

あすなろ訪問看護ステーション TEL・FAX 079-562-5530

あすなろ新聞

あすなろ新聞100号を迎えました!!



日ごろより沢山の方に読んでいただいている「あすなろ新聞」がおかげさまで100号を迎えることが出来ました。読者代表のひと言をここに紹介させていただきます。今後とも沢山の方に楽しんで読んでいただけるよう、新聞発行に頑張っていきたいと思います。m(..)m

あすなろ新聞100号発行おめでとうございます。

平成21年から毎月欠かさず、発行されたことにまず敬意を表します。相談事業を開始されたころは、機関誌発行どころではなかった時期もあったのではないのでしょうか。藤田理事長が事業の運営に東奔西走されていたことを思い出します。

又、平成20年の年末の事、事業立ち上げに相当悩まれ地域医療に熱心な職員に相談されていたことがついこの間のように回想されます。翌年には現『あすなろ事務所』を立ち上げられましたが事業は四苦八苦とよく聞いていました。

8年目を迎えられたことに本当にご苦労様でした。これはひとえにスタッフの支えがあったものだと思います。立ち上げから手となり、足となつてともに頑張ってきた看護師や事務員さんのおかげかと感じます。この事業は一般の市民にはなかなか理解しにくいことですが、『あすなろ』の活動を通じて広く市民に理解が広まることを願っています。

現在はストレス社会です。今後ますます必要とされることは間違いありません。あすなろ事業所の考えである当事者を中心に今後とも事業を展開されることを願っています。次はあすなろ新聞200号発行を目指してみなさんと奮闘されることを願っています。

東浦 徳次

特定非営利活動法人あすなろ

〒669-1513 兵庫県三田市三輪1丁目8番11号

TEL. FAX 079-562-5531

E-mail npo.asunaro@honey.ocn.ne.jp

<http://npo-asunaro.org/>

ピアサポN君のピュアな散歩話 第27弾

ここ日本からは遠く離れた中東地域、シリアでは、反政府勢力とアサド政権側による事実上、生き残りをかけての戦争、殺し合いの日々が今も続いています。 圧政に抵抗する反政府側をアメリカが支持し、政府側をロシアや北朝鮮など共産圏が支持する形となっていて、国連条約で固く禁じられている化学兵器のサリンなどを度々政府軍側が使用している疑いが限りなく濃いという状況にあるというのは、ちょっとゆゆしき問題ではないでしょうか？ 何の罪もない女性や子供に至るまでが苦しみ、のたうち回り、死に至った様子をメディアは世界に伝えました。

この極悪非道を許せないとしてアメリカの前オバマ政権でさえ、アサド政権側をなんと直接空爆してしまうという決定を下したのですが、他諸国の同意を得ることができず、当時は実現までには至りませんでした。 ところがトランプ大統領にとって代わるやいなや、いともたやすく、アメリカ海軍はトマホーク巡航ミサイルを打ち込み、死者を出す始末。

それにしても、道義的な殺人というのは、果たして人として許されるものなのでしょうか？ 似たような形として、死刑制度の是非、虐待、監禁、強制入院制度など、人が人を律する、あるいは支配する、されるという、「人権問題の実際」はどの国においても、民意はなかなか一つに定まり一致を見る、という所までは難しいようです。

「制裁行動」というのは個人でも国でも、酷い事だけれども仕方がない、と、うしろめたくも許されてしまうような事案であったりしますが、実は、実被害、実経験があるか無いかでその実感、真の意味合いなど、深い所までの理解はなかなか難しいものがあります。 机上の勉強や聞きづてでは絶対に見えて来ない道義的な「本質」はそれこそ知る者のみぞ、知る、であり、いじめられっ子の気持ちは、実際にいじめられて初めて知るものなのです。 (N)

ピアサポーター出張公演！！

団体、サークル、学校、会社関係者の皆さま!!

精神障害当事者が出張講演いたします。

- 出張地域：市内（市外については応相談）
- 対象：市内地域団体、福祉サービス事業所、学校、会社などの団体
- 開催人数：5人程度から100人単位
- 日時：平日9時～17時(その他の日時については応相談)
- 申込み：原則、講演開催の1ヶ月前までに申込み
- 講師：あすなろ相談支援事業所職員および精神障害ピアサポーター
- 団体や対象に合わせて調整させていただきます

あすなろ相談支援事業所 TEL 079-556-5075 FAX 079-556-5275



香りに癒されました！！

6月上旬に『ラベンダーパーク多可』に行ってきました。

梅雨入りの声を聞きながらのお出かけでしたが、当日は暑いくらいのお天気でした。到着して、受付をするのに車の窓を開けると、ラベンダーの香りが迎えてくれました。

ここラベンダー園は2008年6月に地元人たちの汗と元気を肥やしに開園されたところだそうです。丘陵地の中には展望台がいくつかあり、上から眺めるとここまで山を切り開かれて、沢山のラベンダーを育てられたことに頭が下がります。当日も村の方たちが園内の花の手入れや、受付などをしておられました。昼食は園内にある食堂で、シカ肉のどんぶりをいただきました。中々食べることが出来ないのチャレンジしましたが、普段食べているお肉と変わらず、臭みもなく美味しく頂くことが出来ました。

又丘陵地帯の上まで行くとチェンソーアートの世界チャンピオンが作られた作品が沢山飾ってあり中には天使やドラゴンなどの大きな彫刻(右の写真)もありました。

花の時期は5月中旬から、7月中旬までいろんな種類のラベンダーを楽しむことが出来るそうです。



お知らせ



あすなろの店頭販売しておりました、きぬむすめ、こしひかりのお米は好評につき完売いたしました。沢山のお買い上げありがとうございました。本年度の新米は10月頃より販売させていただきます。沢山のお買い求めお待ちしております。

賛助会会員募集！！

ご協力お願いいたします！！（昨年度お世話になった方も、本年度もよろしくお祈いします）

賛助会員…この法人の事業に賛助するために

入会される個人及び団体

年会費 一口 個人 2000円

団体 3000円

振込先 郵便振替口座番号 00900-3-272040

加入者名 特定非営利活動法人 あすなろ

他金融機関よりの振込用口座番号

店番号 099 当座番号 0272040

※通信欄に『賛助会費』とご記入ください

※ご連絡いただければ、振り込み料金無料の

用紙を送らせていただきます

精神障害者支援センター講演会のお知らせ

「リカバリー志向の就労支援（仮）」

日時：2017年10月21日（土）13時30分開演予定

会場：三田市総合福祉保健センター・多目的ホール

講師：畝木奈津恵さん（社会福祉法人あすなろ福祉会・多機能型事業所あすなろ）

岡山県で就労支援にたずさわる畝木奈津恵さんをお招きし、IPSモデルにもとづく

リカバリー志向の就労支援についてお話いただきます。

当事者の働きたいという希望を尊重し、当事者のリカバリーを大切にして、従来の

「訓練してから就労する」ではなく「就労してから練習する」というプロセスを

重視し、多くの利用者が就職しています。